

プラサフ977黒 (ライン凹凸確認剤)

● **黒色被膜とツヤで見えにくかったライン凹凸状態を確認可能!**

粉タイプのように粉落ちて目標が判りづらくなったり、下地に入り込んでプリスターの原因になりにくくなります。
ピカチェッカー978と組み合わせるとより一層判りやすくなります。

● **プラサフなので、ペーパーにからんだり、目詰まりを起こしにくい!**

他の黒色のラッカースプレーでは、ペーパーが目詰まりしたり、表面が滑ってうまく研げません。

● **ノンサンディングのプラサフとしても使用可能!**

エンジンルーム、トランクルーム、ボンネットやドアの裏側、シャーシの溶接部等、目立たない部分にサンディングなしで、塗料の密着を助け、防錆効果を高めます。
濃色塗料の色とまりの良い黒色塗料です。



品名	プラサフ977黒 (ライン凹凸確認剤)
品番	11501
容量	420ml
入数	12本
梱包サイズ	W285xD222 xH215mm
梱包重量	6.0kg

ピカチェッカー978 (調色・ライン凹凸確認剤)

● **塗ってすぐに光沢!**

ウェットな被膜が塗布面をおおい、光沢によってヒズミ、ラインのズレ、凹凸を浮き上がらせます。
プラサフ977黒と組み合わせるとより一層判りやすくなります。

● **パテ等の下地や塗装を侵さない!**

下地や塗装に悪影響をおよぼさない特殊溶剤を配合しています。

● **適度な乾燥時間!**

長く状態を確認できるように、適度に乾燥速度を調整しました。

● **有機則フリーで人体に優しく、使用場所を選ばない!**

● **調色用クリヤーとしても使用可能!**

ベースコート(メタリー等)塗布後に使用して、旧塗膜との比較が可能です。
テストピースに塗布し、確認後拭き取れば、再度の色合わせ時にテストピースの再利用が可能で経済的です。



品名	ピカチェッカー978 (調色・ライン凹凸確認剤)
品番	11502
容量	420ml
入数	12本
梱包サイズ	W282xD225 xH213mm
梱包重量	6.0kg

ノンサン プラサフ975 (グレー)

プラサフ977の姉妹品!!

全ての上塗りに隠ぺい性の良いグレー色

品名	ノンサンプラサフ 975(グレー)
品番	11425
容量	420ml
入数	12本
梱包サイズ	W288xD230 xH217mm
梱包重量	6.0kg



お問合せは・・・



石原薬品株式会社

本社 〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
TEL.(078)681-4801(代表)・FAX.(078)651-6784
東京支店 〒110-0016 東京都台東区台東2丁目2番11号
TEL.(03)3832-1531(代表)・FAX.(03)3832-8132
滋賀工場 〒520-1642 滋賀県高島市今津町北生見古野
TEL.(0740)24-0151(代表)・FAX.(0740)24-0436

ライン凹凸確認システム

プラサフ977黒
(ライン凹凸確認剤)

ピカチェッカー978
(調色・ライン凹凸確認剤)

上塗り前のリハーサル!

黒色皮膜とツヤで
簡単確実に確認が可能

プラサフ膜で
研磨がスムーズ

液体タイプで
複雑ボディーに対応



こんな作業で力を発揮します。

濃色車

仕上がりに高い完成度を求められ、微妙なヒズミ、ラインぶれでも目立ってしまいます。



ぼかしたラインを持つボディ

くっきりとしたラインが、徐々に消えていくようなボディの修復作業は特に難しい作業となります。



長い連続したプレスライン

1BOX車等のサイド部分で、長いラインが続くため、少しのズレもすぐに目立ってしまいます。



ヒズミ確認作業

1. 準備

必要な部分をマスキングしてください。エアブローでパテ粉等を取り除き、脱脂してください。

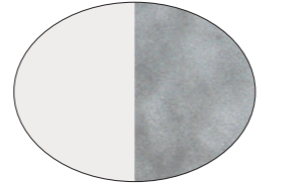
2. 977塗布



厚く塗る必要はありません。1~2回程度で、右のような状態になれば十分です。

塗布の目安

【塗布前】 【塗布後】



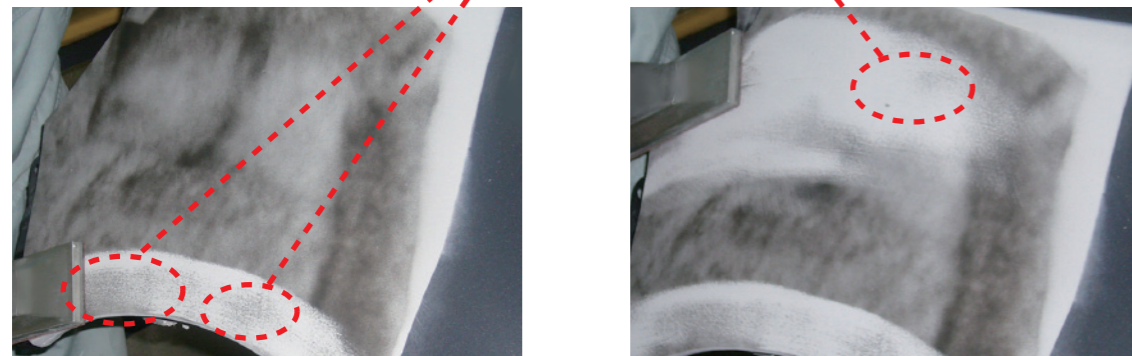
この程度の色でOK!

※塗布範囲がせまい場合等、段ボールを加工し、使用すると手間が省けます。

3. 乾燥

エアブローで1~2分程度乾燥させてください。乾燥時間は条件によって異なりますが、ペーパーに絡まなくなればOKです。

4. 研磨



- #320程度のペーパーで面に沿って軽くサンディングしてください。凹部に黒い色が残るため、目視でヒズミ、凹凸部が分かります。
- 表面状態を整えながら、全体的に黒い色が抜けるまでサンディングを行ってください。
- ※この工程は確認、修正作業だけで無くブラサフ用の足付け作業も兼ねて行えます。

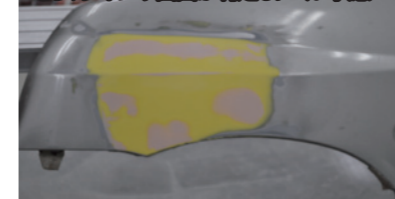
5. 後工程

- 977の被膜は必ず、サンディングで落としてください。
- 上塗り前には、必ず2液のプライマーサフェーサーを使用してください。

ラインぶれ確認作業

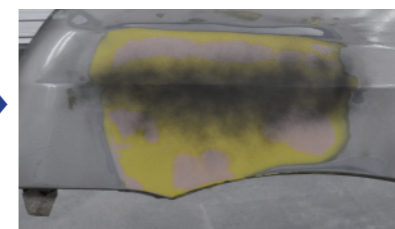
1. 準備

旧塗膜、板金パテ、ポリパテと何色かが混ざり、ラインや凹凸が判定しにくい状態



必要な部分をマスキングし、エアブローでパテ粉等を取り除き、脱脂してください。

乾燥した状態

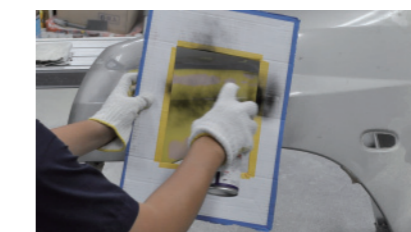


エアブローで1~2分程度乾燥させてください。乾燥時間は条件によって異なりますが、研ぐ場合にはペーパーに絡まなくなればOKです。

この状態で十分確認できれば、清掃・脱脂後4の修正作業に進んでください。

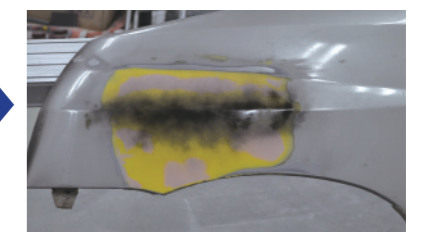
黒く色付け STEP1

2. 977塗布



薄く均一に塗布してください。※塗布範囲がせまい場合等、右写真のように段ボールを加工し、使用すると手間が省けます。

直後の状態



塗布直後の光沢でラインのぶれ等を確認できます。

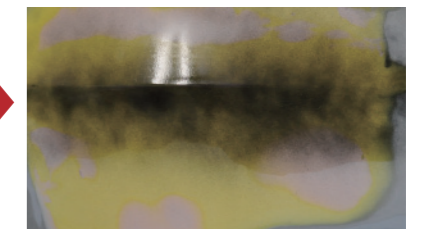
透明で光沢を出す STEP2

3. 978塗布



垂れないように薄く塗り重ねてください。

978での光沢



977の黒、978の光沢で、より確認しやすくなります。

この状態で十分確認できれば、拭き取り、表面を乾燥させ、脱脂後4の修正作業に進んでください。

4. 修正



必要に応じて適切に研磨修正してください。

5. 後工程

- 977の被膜は必ず、サンディングで落としてください。
- 上塗り前には、必ず2液のプライマーサフェーサーを使用してください。